

国内テレワーク関連市場の展望： 2011年～2015年の予測

眞鍋 敬

ソフトウェア&セキュリティ グループ

リサーチマネージャー

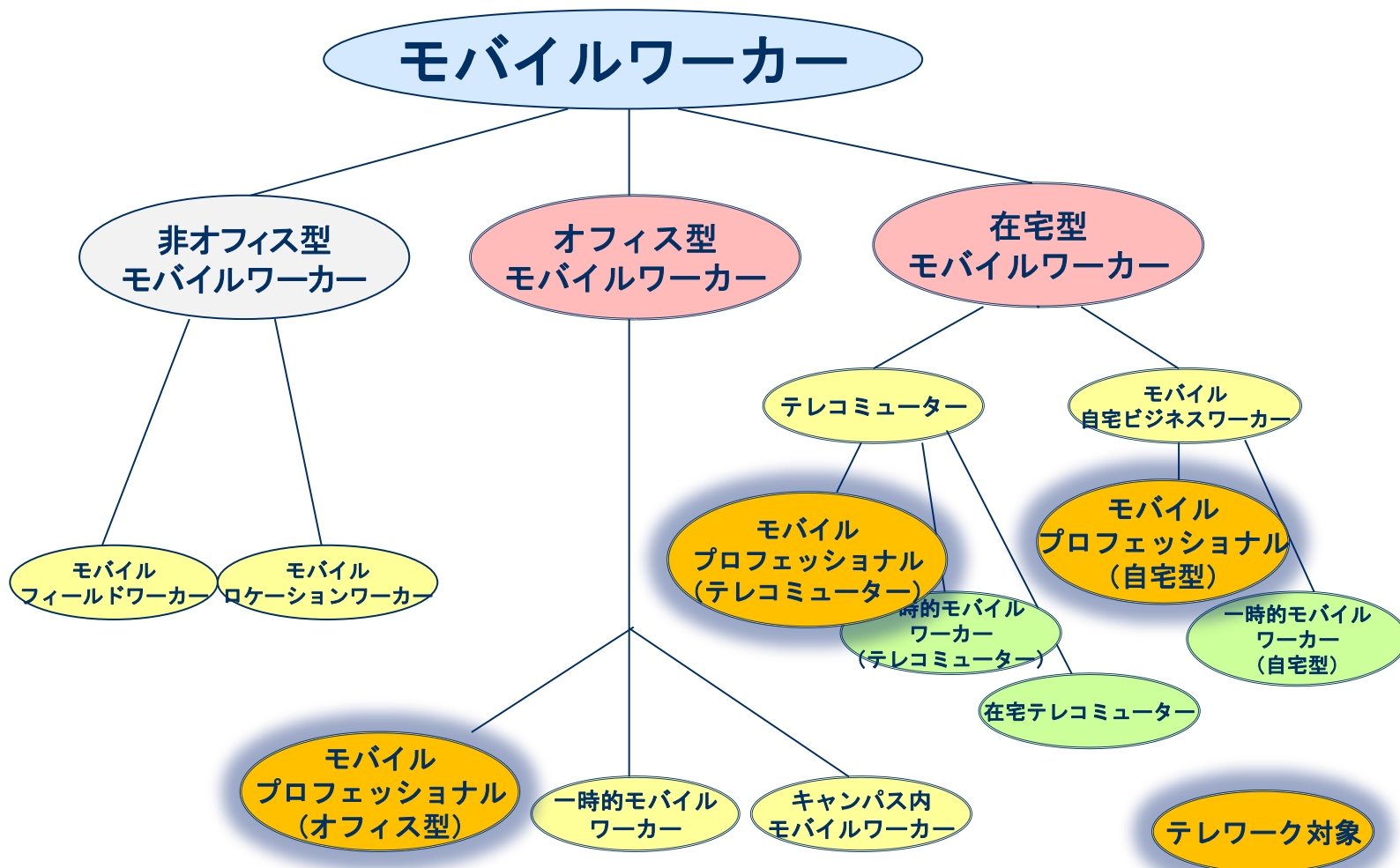
IDC Japan株式会社

2012年2月20日

- IDCの製品市場セグメントからテレワークに関連する52分類を抽出
- IDCがグローバルに定義する「モバイルワーカー」から「テレワーカー」を抽出、震災影響を加味してテレワーク人口を予測
- 企業ユーザー調査によって以下を把握
 - 現在の国内テレワーク利用動向
 - 震災の影響
 - 今後のデバイス／ネットワーク／アプリケーション導入意向
- ベンダー／インテグレーター／通信事業者へのインタビュー調査と統計、IT投資動向、経済状況を加味
- 52分類の抽出市場について、テレワーク関連部分を予測
- 3分類（大分類）／7分類（中分類）にまとめて評価

IDCのモバイルワーク、 テレワーク定義

モバイルワーカー：収入を伴う仕事をしている人で、執務場所以外の場所でICTを利用して業務を遂行する人
モバイルプロフェッショナル：モバイルワーカーの中で、就業時間の20%以上を執務場所外で仕事をする人



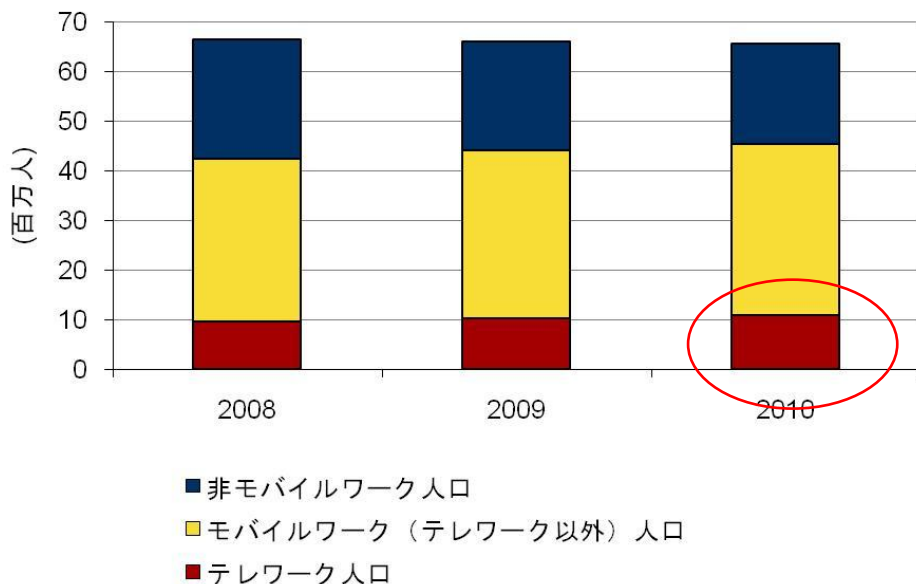
Source : IDC Japan, August 2011

テレワーク人口の推移

国内テレワーク人口推移

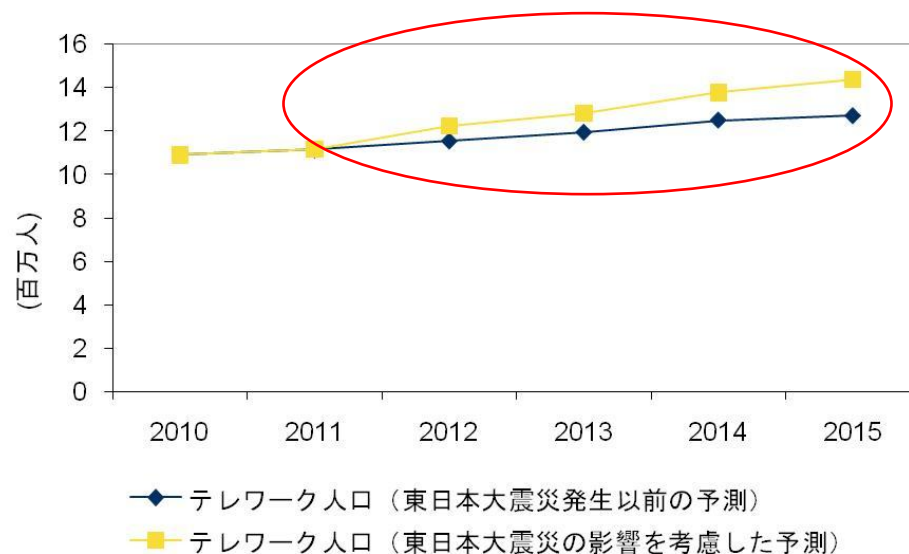
- IDC定義の「モバイルプロフェッショナル」の合算と国土交通省「平成22年度テレワーク人口動態調査」の「狭義のテレワーク」の定義がほぼ一致
- 2012年以降：震災の影響による企業の事業継続性見直しの影響によって、震災前の予測より増加

国内テレワーク人口の推移



Source : IDC Japan, August 2011

国内テレワーク人口の予測

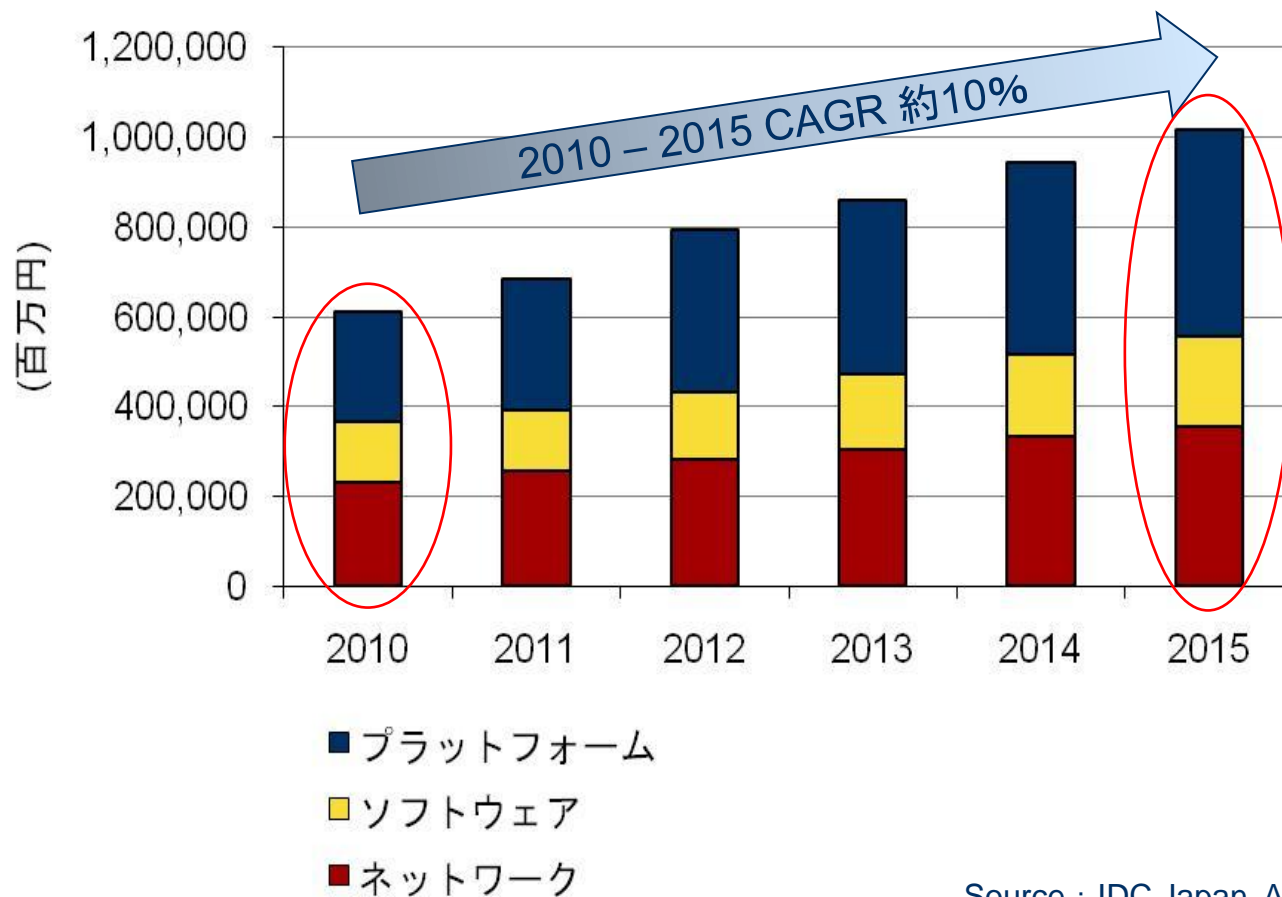


Source : IDC Japan, August 2011

国内テレワーク関連ICT市場予測

国内テレワーク関連ICT市場規模

- 2015年までに1兆円を超える市場規模に成長と予測
- モバイルデバイス（プラットフォーム）、モバイル関連通信サービス（ネットワーク）市場の成長



Source : IDC Japan, August 2011

メールでのお問い合わせは:

tmanabe@idcJapan.co.jp

眞鍋 敬

IDC Japan

ソフトウェア&セキュリティグループ



本テキストの著作権はすべてIDC Japan株式会社に帰属しています。
本テキストの複製、または内容の流用、転載はIDC Japan株式会社の許可なしにはできません。